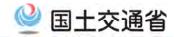
資料3

北海道横断自動車道(黒松内~余市)

計画段階評価の試行

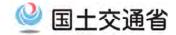
平成22年12月14日

国土交通省 北海道開発局



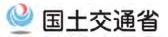
目 次

- 1. 「計画段階評価」試行箇所の概要
- 2. 広域的な移動についての現状と課題
- 3. 後志地域の現状と課題
- 4. 計画路線に並行する一般国道5号の課題
- 5. 今後のスケジュール

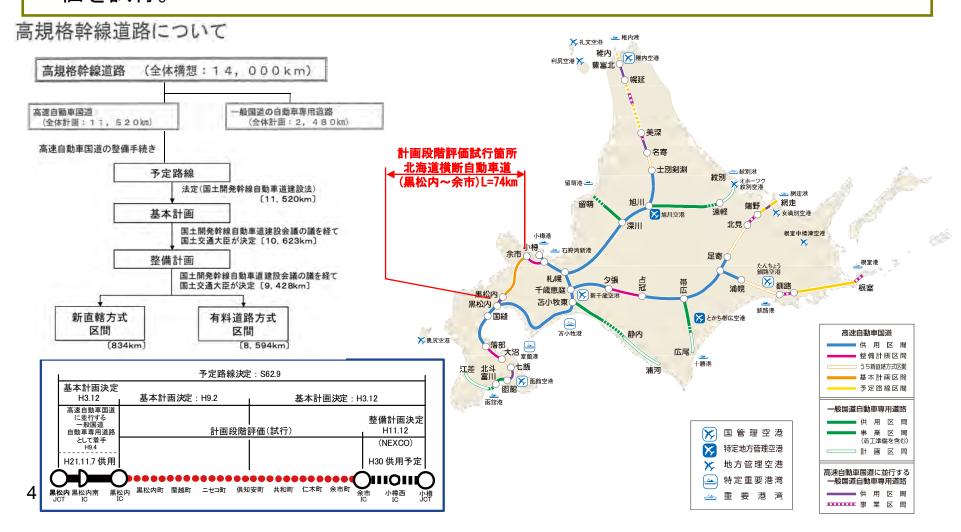


1.「計画段階評価」試行箇所

1)「計画段階評価」試行箇所における概要



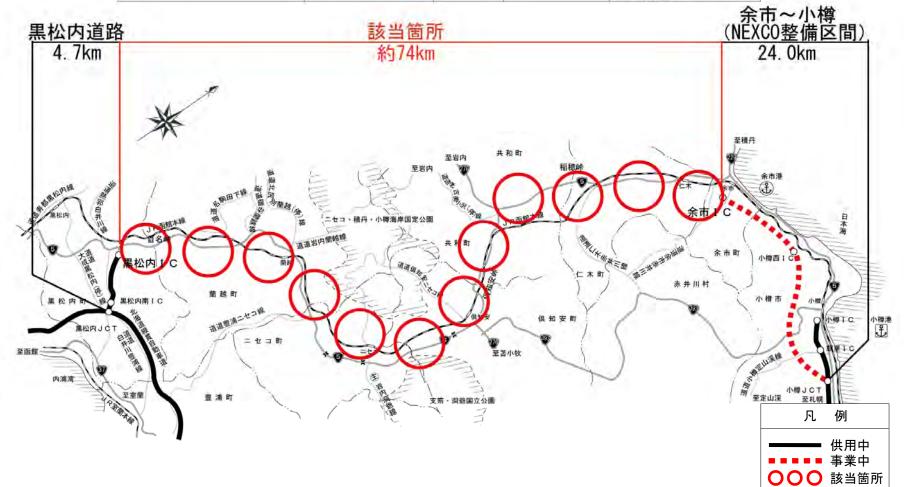
- 〇全道の高規格幹線道路 約1,825kmのうち、供用済 約910km 事業中 約425km、未事業化 約490km
- 〇このうち、基本計画区間である北海道横断自動車道 黒松内~余市で計画段階評価を試行。



2) 北海道横断自動車道(黒松内~余市)の基本計画内容^{№ 国土交通省}

H3.H9に決定された基本計画の内容については下表のとおり

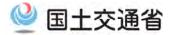
建設線の区間	建設線の主たる経過地	標準車線数	設計速度 (km/時)	道路等との連結地
北海道寿都郡黒松内町大成から 同郡黒松内町白井川まで		四車線	100	北海道寿都郡黒松内町附近
北海道寿都郡黒松内町白井川から 同道虻田郡倶知安町まで		四車線	100	北海道磯谷郡蘭越町附近同道虻田郡ニセコ町附近
北海道虻田郡倶知安町から 小樽市まで	北海道余市郡余市町	四車線	100	北海道虻田郡俱知安町附近 同道岩内郡共和町附近 余市郡仁木町附近 同郡余市町附近 小樽市附近





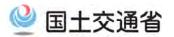
ご説明事項

- ・広域的な移動についての現状と課題
- ・後志地域の現状と課題
- ・計画路線に並行する一般国道5号の課題

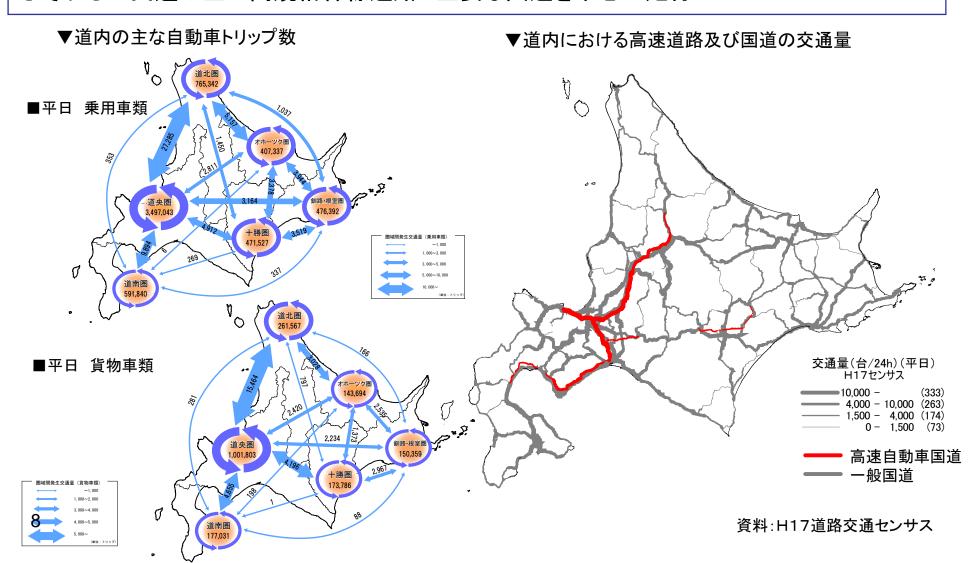


2.広域的な移動についての現状と課題

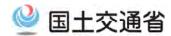
1) 道内の広域的な移動の現状



- 〇道内6圏域内の広域的な移動は、道央圏とその他の圏域を結ぶ交通が多く、特に道北・ 道南方向が多い
- 〇それらの交通は主に高規格幹線道路と主要な国道を中心に走行



2) 道内の広域的な移動における課題

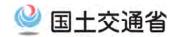


<物流>

- 〇四方を海に囲まれた北海道では、港湾・空港を通して、道外へ物資を輸送
- 〇外貿コンテナ等の輸送が増加する中、物流の大半を担う道央圏の空港・港湾と他の圏域 を結ぶ、最短経路上に通行支障区間が存在
- 〇その結果、大規模な迂回を余儀なくされている

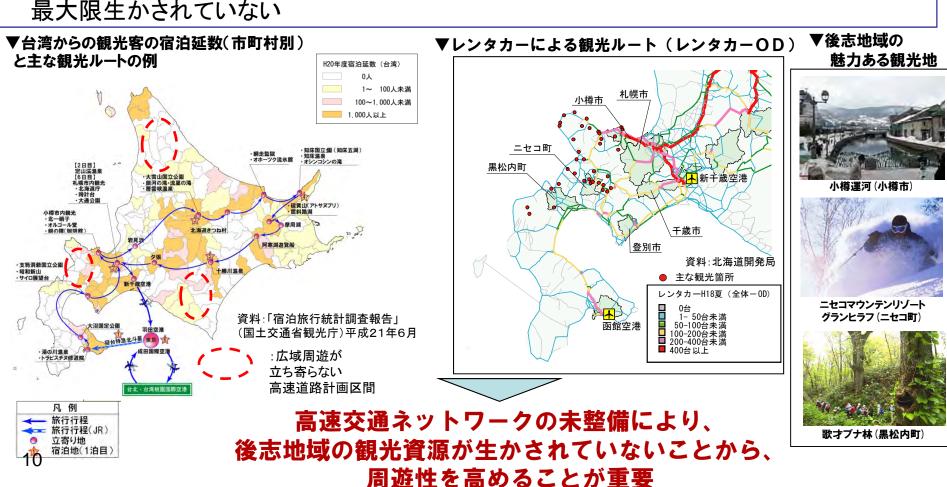


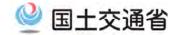
3) 道内の広域的な移動における課題



<観光>

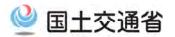
- ○観光客は広大な北海道において高規格幹線道路沿線ルートを中心に広域的に移動。
- ○高速道路の空白地域への広域周遊は少ない
- 〇また、空港からのレンタカー利用では高速道路を中心に周遊
- 〇高速から遠い地域ほど訪問されておらず、後志地域をはじめとする魅力ある観光資源が 最大限生かされていない



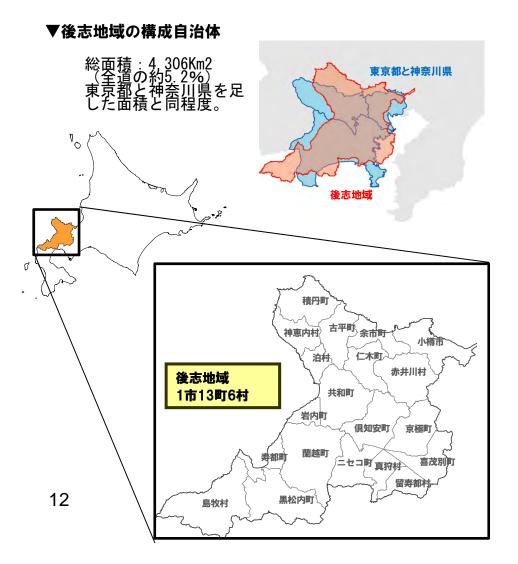


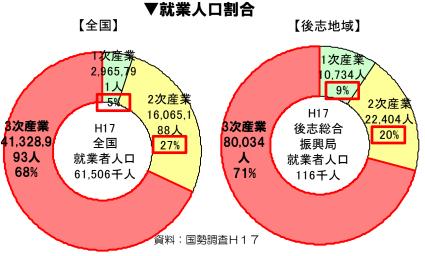
3.後志地域の現状と課題

1) 概況



- 〇後志地域は、1市13町6村で構成され、総人口は全道の約4.4%(約25万人)
- 〇就業人口割合は全国に比べ1次産業が高い
- 〇倶知安町では年平均最大積雪深が約2mに及ぶなど、道内屈指の豪雪地帯

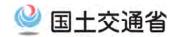






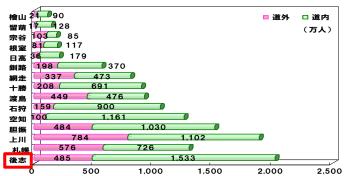


2)観光の現状



- 〇二セコ町等のスキーリゾートエリアを有する後志地域は、観光入込み客数が全道1位 〇二セコ羊蹄エリアの外国人宿泊者数は、過去10年間で約26倍に増加
- ○倶知安町、ニセコ町では、外国資本による大規模スキーリゾート開発が計画・進行中
- 〇開発を計画している民間事業者からは新千歳空港からのアクセス改善が期待されて いる

▼H21北海道内外別観光入り込み客数(地域別)



資料:「北海道観光入込客数調査報告書」/北海道経済部観光局

▼ ニセコ羊蹄エリア※の外国人宿泊客延数の推移

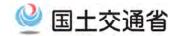


資料:「北海道観光入込客数調査報告書」/北海道経済部観光局

▼既存のスキー場を生かしたリゾート開発が進むニセコ地域



3)農水産業の現状

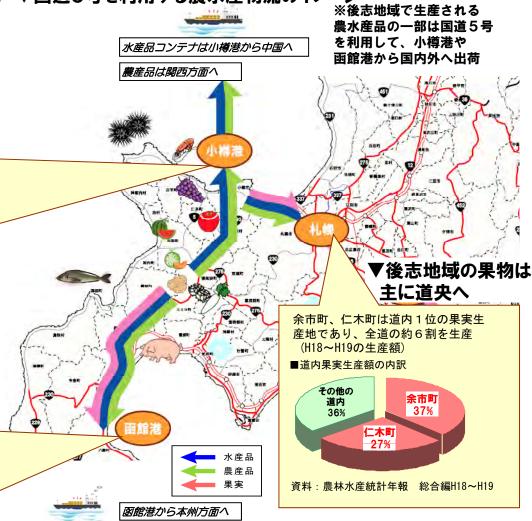


- ○果実やゆりねは道内一の生産を有し、大根やゆりねは、東京・大阪の卸売市 場で大きなシェアを占める
- 〇生産者からは更なる販路拡大が期待されている

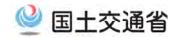
▼大阪の市場のゆりねは北海道産が主役 ▼国道5号を利用する農水産物流のイメージ

大阪の市場に並ぶゆりねは、そのほぼ全量(99%)が北海 道産。北海道で収穫されるゆりねの約5割が後志産。 ▼大阪府中央卸売市場卸売青果の北海道産品シェア(%) 20% 40% 60% 80% 100% ゆりわ 86.5% メークイン ■道内ゆりね(食用ゆり) ばれいしょ 収穫量の内訳 たまわぎ 37.0% 養志支庁 その他道内 スイートコーン 48.4% 28.5% 西洋にんじん だいこん 2.7% ■北海道シェア ■その他産地シェア 資料:H21年大阪府中央卸売市場年報 ※北海道産品シェア中の後志支庁産の割合は、右記 資料:農林水産統計年報 資料よりシェア案分により想定した値。 総合編H18~H19 なお、ゆりね以外の品目は0.1~3%に満たないため、 ▼東京の市場の大根は北海道産が主役

夏、東京都中央卸売市場に並ぶ大根の約6割強は北海道 産。後志産の大根はその約4割を占めており、市場に並 ぶ大根の4本に1本相当。 ▼関東方面への道産 ▼東京都中央卸売市場の 大根の移出割合(H20) 北海道産大根シェア(H21) 65% 75% 根室 39% 58% 33% 25% 7% 1% 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 資料:H21年東京都中央卸売市場年報、 H20年度農畜産物及び加工食品移出実態調査

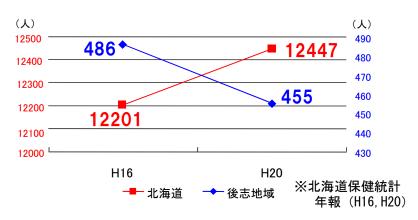


4) 地域医療の現状と課題



- ○後志地域は医師数が減少する医療過疎地域
- ○後志地域には第3次医療施設がなく、救急搬送は札幌市や小樽市に依存
- 〇主な救急搬送ルートは、主に一般国道5号へ依存

▼医師数の推移(H16-H20)



▼高度な治療(ハイリスクな出産や脳梗塞) は札幌市の病院へ搬送



症状が重く対応しきれない分娩の場合 は、<u>札幌市の手稲渓仁会病院に一番お</u> <mark>世話になっています。</mark>

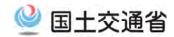
倶知安厚生病院HP 文化連情報2006.3№336から抜粋

▼H20年度後志管内発救急搬送流動状況

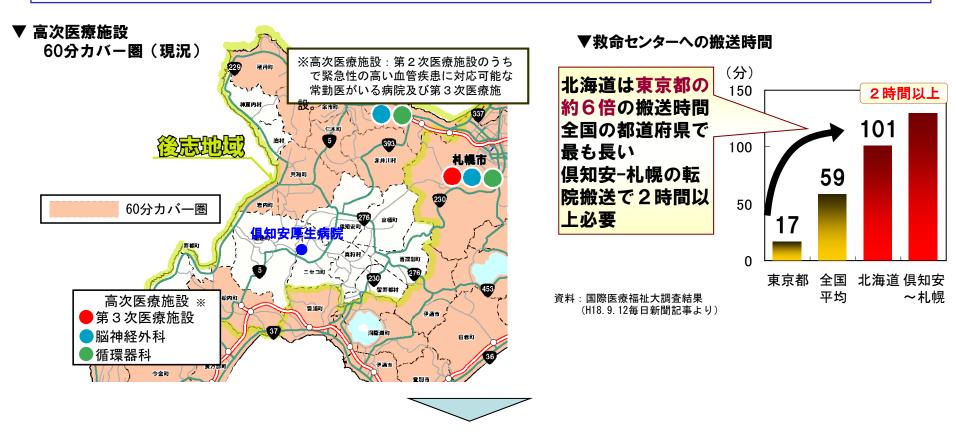


・ H20年度の救急搬送は国道5号黒松内~余市間で最大513件(1.4件/日) (H21年度小樽開発建設部ヒアリング調べ)

4) 地域医療の現状と課題

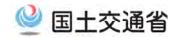


- 〇高次医療施設に60分で到達できない地区に約5万人が居住しており、十分な 救急医療サービスが享受されず、生活面の安心が確保されていない
- 〇もっとも早い国道5号でも、救急搬送は2時間以上を要する



後志地域の必要な医療サービス水準が確保されていないことから、 医療機関へのアクセス時間の短縮が重要

5) 自然災害:有珠山の噴火による迂回



- 〇平成12年の有珠山噴火により、北海道縦貫自動車道、JR室蘭本線等において、 約15ヶ月にわたり通行止めが発生。
- 〇その間、高速道路を走行していた速達性を重視する交通についても走行性・速達性に劣る R5・R276へ流入し、大幅な迂回が発生することで、人・物ともに移動が非効率化

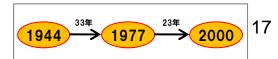
H12年の有珠山噴火により、 北海道縦貫自動車道が 約15ヶ月間通行止め (H12.3.29~H13.6.30)

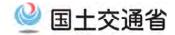




有珠山噴火時に大きな迂回を強いられ、 目的地への到達時間が長時間化することから、 火山災害時の高速交通リダンダンシーの確保が重要

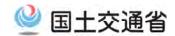
▼ 有珠山の噴火周期



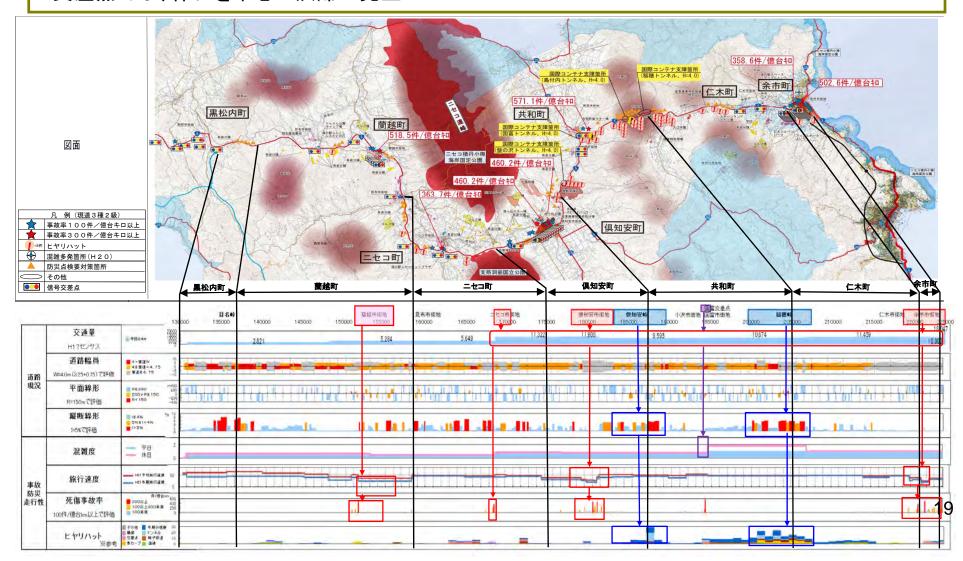


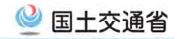
4. 計画路線に並行する 一般国道5号の課題

4. 計画路線に並行する一般国道5号の課題



- ○市街地を中心に旅行速度が低下するとともに、事故が多発
- ○縦断線形が悪い区間においては、ヒヤリハットの意見が多い
- 〇二セコ市街地から余市にかけて交通量が多く、そのうち岩内方面からの交通との合流である国富 交差点では、休日を中心に渋滞が発生

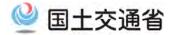




以上を踏まえ、ご意見を頂きたい事項

・地域の現状等を踏まえた課題認識

・課題認識を踏まえた政策目標設定に向けた留意点



5. 今後のスケジュール

6. 今後のスケジュール

